

福祉サービス第三評価結果の公表ガイドライン

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 未来

②施設・事業所情報

名称：東クローバー保育園	種別：企業主導型保育所
代表者氏名：園長 岡本 祐子	定員（利用人数）：102名（67名）
所在地：鳥取県米子市二本木 977-1	
TEL：0859-57-7202	ホームページ： https://clover-hoikuen.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2018年3月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社クローバーホールディングス	
職員数	常勤職員： 13 名 非常勤職員 7 名
専門職員	保育士 7 名 保育士 5 名
	看護師 1 名
	調理師 2 名
	子育て支援員 2 名 子育て支援員 1 名
	連携推進委員 1 名 事務員 1 名
施設・設備 の概要	保育室（5）乳児室（1）調乳室（1） （設備等）
	医務室（1）・調理室・事務室 冷暖房・床暖房

③理念・基本方針

＜保育理念＞好きなことをもっと好きになれるよう自分らしさを大切にのびのびと生活する

＜保育方針＞・四季を感じながら、色々な体験をしていく。

- ・好きなことがもっと好きに、楽しくなるように個性を大切にする。
- ・いろいろな人と関わる中で、心の育ちを大切にする。

④施設・事業所の特徴的な取組

子ども達の好きな事や興味のあることを大切にし、好奇心、探究心がより広がるよう日々、一緒に楽しむことを大切にしている。体を動かすことが好きなので、プレイルームを活用し、様々な体の動きを経験できるような時間を作り、子どもたちが自ら「やりたい」と思える環境づくりをしている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 3年 10月 31日（契約日） ～
令和 4年 5月 13日	令和 4年 6月 29日（評価結果確定日）

⑥総評

◇特に評価の高い点.

1. 当園は企業主導型保育園であり、事業所に勤務する従業員が働きながら子育てしやすい環境を整え、離職の防止、女性の活躍、就労の継続等を推進するよう支援している。
2. 国、県、市、福祉医療機構、民間研究機関、同業種上場企業等の公表資料を収集・分析し、幅広い視点で動向の把握に努め、経営に反映させている。
3. クローバーグループとして計画的に第三者評価を受審しており、組織全体の保育の質の向上に向けた取り組みに意欲的である。
4. 全国保育士協会の補助金等を活用し、保育支援員がクラスを補助しながら、保育士等の資格を習得できるように支援し、人材育成に努めている。
5. 保育理念でもある「自分らしさを大切にのびのびと生活する」ため、職員は子ども一人ひとりに寄り添い、主体性を尊重したかかわりを実践している。子どもや保護者とのかかわり方について、ミーティング等で都度職員の共通理解を図っている。
6. 職員は話し方の演習をし、保護者から気軽に話しかけやすい雰囲気づくりや、保護者の不安を取り除き、信頼関係を築けるよう努めている。
7. 職員を少人数グループに分けたり、事案ごとに構成メンバーを工夫した会議をすることで、職員の活発な意見交換ができています。また、月ごとに職員一人ひとりの「やることリスト」を掲示して、業務内容や達成度を可視化することで、業務の効率化とチームワークの向上につながっている。
8. 園だより、クラスだより、保健だより、給食だよりを発行したり、最新のドキュメンテーションや感染情報を玄関に掲示するなどして、園の様子や子育て情報を発信している。
9. 園庭の一部には人工芝や日よけテントを整備している。備え付けの遊具を最小限にし、遊具による楽しみだけでなく、子どもが砂場や広場で自由な遊びを楽しむことができるよう工夫している。

◇期待できる点

1. 幹部職員は年2回全職員との面談を行い、職場環境や職員の意向把握に努めている。総合的・体系的な評価制度の確立については今後の課題である。
2. 各年齢の成長に合わせたコロナ感染対策をし、換気とマスク着用や消毒方法のルール化を進め、行事の取組方法も工夫している。
3. 遠出は園バスを利用し、年齢ごとに遠足や遊びに出かけている。
4. 職員は毎月ヒヤリハット報告を提出しており、事故防止に関する意識向上に繋がっている。
5. 保育の指導計画・実施・評価は統一したCCS保育記録システムを活用しており、利便性を高めている。さらに保育の見直しにつながることを期待する。
6. 「子どもを制止しない保育方針」「給食は三大アレルゲン除去食」「備え付け遊具の少ない園庭」等について、明確な園の考え方がある。保護者が疑問に思うことに対して、今一度、方針の理解を図り、さらに信頼関係を深めてほしい。

◇改善を求められる点

1. 園長等との職員面談により、今後は個々の目標の取組について考える機会とし、スキルアップになることを期待する。
2. 園は国道沿いに立地しており、住宅より商業施設が多く地域との連携が困難であるが、地域交流や防災など可能な範囲で連携を深めてほしい。
3. 保護者アンケートを年2回実施し、意向把握に努めているが、保護者が意見・相談を述べやすい場所や時間帯の検討、保護者同士が交流できる場の工夫をしてはどうか。
4. ホームページ上での情報公開において、運営や経営面など幅広く行っていく予定である。園の保育の様子がより分かるような工夫を望む。
5. 園の規模に対し、職員のためのスペースが十分ではない。職員が働きやすい空間づくりについての工夫を期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育理念を基に園全体で取り組んでいること、保育の質の向上のために皆で意見を出し合って実践していること等を評価していただき大変嬉しく思います。第三者評価を行うことで、様々な面に視点を向け改めて園で取り組んでいること等を見つめなおすきっかけとなり達成できていることや課題に気付くことができました。今後も職員全体で保育の質の向上、職員間の連携、保育内容、保護者支援についての検討・実践を続けていき、東クローバー保育園に預けて良かった、東クローバー保育園で働けて良かったと保護者様や職員が感じ、選ばれる保育園になれるよう前進していきたいと思えます。グループ園が多数ある強みを生かし連携をとりながら評価を活かした取り組みを続けていきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

第三者評価結果

※すべての評価細目(45項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		評価結果
I-1-(1)	理念、基本方針が確立・周知されている。	
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> グループのホームページには理念・基本方針・保育目標を分かりやすく明示している。職員へは年度初めや年度途中で理念や方針についてミーティング等で周知している。また、保護者に向けて、入園前の説明の際、園のしおりや重要事項説明書を用いて説明している。取り		

組みや活動について具体的に伝えていくよう努めている。

I-2 経営状況の把握

		評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<p><コメント></p> <p>本部は、国・県・市・福祉医療機構・民間研究機関・同業種上場企業等の公表資料を収集・分析し、幅広い視点で動向の把握に努め、経営に反映させている。役員や幹部職員により定期的に全職員の面談を実施し、現場の環境把握に努め、経営会議で情報共有を図っている。また、予実管理表、園児推移表等を作成し、定期的に状況把握や分析を行っている。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<p><コメント></p> <p>財務会計・労務管理・内部統制については、監査法人等専門機関により土台構築を図っている。グループウェア導入により、全園と本部を繋ぐクラウド上での情報共有環境を整備し、稟議等の業務フローや情報共有の効率化、透明性の確保に努めている。クラウド型電子契約システム（ホームズクラウド）を導入し、ホームページ上にも反映させている。数年前と比較して業務効率化が進んできている。職員への一層の周知が課題である。</p>		

I-3 事業計画の策定

		評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p><コメント></p> <p>本部は、3年～5年間の中期経営計画及び収支計画を策定している。計画の実施状況は取締役会等により定性・定量的に評価するよう努めている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<p><コメント></p> <p>本部は保育園の新規開設や人材確保に向けた計画、並びに人員配置や園児受け入れ計画を策定している。毎月取締役会と経営会議において計画を情報共有し、具体的に取り組んでいる。園長会において情報の伝達がある。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p><コメント></p> <p>取締役会と経営会議において意見を出し合い、評価・見直しを行い、改善できるよう努めて</p>		

いる。より多くの職員の意見が反映できるようさらなる工夫を期待する。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p><コメント></p> <p>事業計画は入園前説明会にて、保護者等に丁寧に説明している。また、分からないことや疑問点についてはその都度対応している。コロナ禍の状況下、保護者への周知の方法をさらに検討してほしい。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p><コメント></p> <p>グループの保育園として計画的に第三者評価を受審し、組織の質の向上に向けた取り組みに意欲的である。保育内容については、園長・主任を中心に記録物を点検し、日々の職員のかかわりを振り返り意見交換している。保護者アンケートの結果や職員の毎月の振り返り用紙を基に、分析・検討を行っている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p><コメント></p> <p>職員を事案ごとに構成メンバーを工夫し、少人数のグループで活発な意見交換をしている。また、全職員の「やることリスト」を表にまとめて可視化し、業務の効率化とチームワークの向上につながっている。今後さらに計画的に課題の改善を進めていけるよう期待する。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p><コメント></p> <p>園長は、年度初めのミーティングや日々の生活の中で役割と責任をもって職員に接し、理解を図っている。全職員とのコミュニケーションを重要視し、様々な情報が園長や主任に届く仕組みを構築し、園長としての的確な判断と指示ができるよう努めている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>巡回相談で行政との適正なやりとりをしたり、児童育成協会主催の研修や、グループ主催の</p>		

施設長研修など、様々な研修に参加し、資質向上や園長としての責務等の心構えを身に付けるよう努力している。園内では伝達研修を行っている。		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育所の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<p><コメント></p> <p>園長は、職員とコミュニケーションを図りながらクラスや職員の困り感を把握し、主任と共に課題へアプローチし、指導力を発揮している。課題やクラスの実態、経験年数に応じた研修に職員が参加できるよう努めている。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<p><コメント></p> <p>園長は、その日の子どもの姿や職員の様子、職員の意見を聞きながら園全体の把握をしている。職員が主体的に業務を行うことができるよう、少人数チームで様々な保育場面や職員同士の気づきについて意見交換し、業務の見直しや環境を整え、改善につなげている。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<p><コメント></p> <p>グループとして外部研修のスケジュールを立て、各園の職員が計画的に参加している。職員は参加報告書を本部に提出し、その学びを検証する体制をとっている。全国保育士協会の補助金等を活用し、子育て支援員がクラスを補助しながら、保育士等の資格を取得できるよう支援し、人材育成に努めている。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p><コメント></p> <p>本部は評価基準に基づき職員一人ひとりの自己評価や、意向・意見の聞き取りを行い、人事の決定をしている。総合的・体型的な評価制度の確立については今後の課題である。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
<p><コメント></p> <p>園長は、日頃から話しやすい雰囲気づくりに努めており、定期的に職員との面談を行っている。また、働きやすい環境づくりとして、一人ひとりの特徴等の分析を行い、職員のチームワークや、ワークライフバランスにも配慮している。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		

17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>本部は、年2回幹部職員が個人面談を実施している。園内では今年度から職員ごとの目標を掲げることにした。今後はそのフォローアップをする機会を設け、職員のスキルアップになることを期待する。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p><コメント></p> <p>職員はグループ内の年齢別保育研修やキャリアアップ研修を計画的に受講している。また、外部の研修もできる限り参加しているが、十分ではない。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<p><コメント></p> <p>年度当初、職員に、今まで受講した研修や受講したい研修について聞き取りを行い、クラスの実態にも考慮しながら研修計画を作成している。また、外部研修の知らせを全職員へ周知し、勤務シフトを配慮するなど、参加ができるよう環境を整えている。一人ひとりの保育の質の向上や学びを深めていくために、グループとしての経年別研修計画の体系化が望まれる。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p><コメント></p> <p>実習生受け入れに関するマニュアルはあるが、現在のところ実習の依頼はない。実習のしおりを作成し、受入フロー、実習目標の共有及び振り返りについての流れを文書化し、さらに体系的なプログラムになるよう検討中である。一度、養成校と話し合いの場を持つてはどうか。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<p><コメント></p> <p>ホームページに理念・基本方針・人材・情報サービス・入園申し込みフォームの項目を設定し、透明性と利便性の向上を図っている。事業報告や保育内容などの情報公開も期待する。園は保護者等に向けて SNS 等を活用し、保育の様子を幅広く触れる機会をつくっている。また、園見学や公開保育等の積極的な実施、玄関で行事の様子を伝えるための写真掲示などにも努めている。</p>		

22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<p><コメント> 事務・経理・取引等において、本部と各園で棲み分けをしている。小口現金管理は基本的に各園で行い、本部が最終チェックする。また、小口現金予算の範囲を超えるものはグループウェア上で稟議をかけ、透明性の高い経営・運営を行っている。前期より承認経路をスリム化し、処理の迅速化を図っている。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<p><コメント> 地域の高齢者に遊びを教えてもらう会を計画していたが、コロナ禍のため実施に至らなかった。勤労感謝の日に園と関わりのある工務店やごみ収集業者へ感謝の気持ちを伝えるなど、できる範囲での交流に取り組んでいる。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	b
<p><コメント> ボランティアの受入れ実績はあるが、受入れ体制が十分に整備されていない。受入れにあたっての職員やボランティアへの研修や、保護者への説明手順の整備など、さらなる体制の確立を期待する。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<p><コメント> 地域の関係機関・団体等の連絡先一覧を作成している。地域中学校区の学校や保育園との意見交換会へ参加し、関係づくりに努めている。必要時には市の「こども相談課」や「療育センター」等の関係機関とも連携している。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	c
<p><コメント> コロナ禍のため地域交流の機会が制限され、地域の福祉ニーズや生活課題等を把握するための取組ができなかった。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
<p><コメント> 「園開放」を計画していたが、コロナ禍の感染拡大により実施できなかった。地域の関係機</p>		

関・団体とも連携し、コロナ禍であっても実施可能な事業・活動を検討して欲しい。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>園の保育理念でもある子どもを尊重した保育について、ミーティングで話し合うなど職員の共通理解に努めている。職員は日々の保育で、子どもに意見を聞き、自主性を大切にしたり関わりを実践している。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>プライバシー保護に関する規定を定め職員に理解を図るとともに、保護者に周知している。排泄や着替えなど生活場面での子ども同士のプライバシーの配慮について、折に触れ、子どもと対話しながらマナーとして身につくよう保育している。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<p><コメント></p> <p>パンフレットによる園の紹介や見学受入れにより、園の生活をイメージしやすく、わかりやすく伝える工夫をしている。多くの方がパンフレットなど園の紹介資料を入手できるよう、公共施設等への設置を検討してはどうか。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b
<p><コメント></p> <p>保育の開始時には、園のしおりなどの資料を用いて保護者等が理解しやすいよう説明している。配慮が必要な保護者へも適正な説明ができるよう、さらなる工夫を期待する。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>保育所の変更にあたり、必要に応じ保護者の同意を得たうえで、引継ぎ文書を作成したり、変更前後の園との情報交換をし、保育の継続性に配慮している。さらに、園の利用が終了した後も保護者等が相談しやすいよう配慮してはどうか。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b

<p><コメント> 本部が年に2回アンケートを実施し、その内容を保護者へ公表している。園では、年に2回のクラス懇談や適宜個人懇談をしている。懇談前には保護者アンケートを実施し、満足度の把握に努めている。職員は、日々の保育で子どもの様子を見たり話をしながら情報収集している。利用者満足に関する検討会の設置等、向上のための仕組み作りを期待する。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p><コメント> 苦情解決の体制を整備し保護者に周知している。意見や苦情をさらに申し出やすくするため、人目につきにくいよう意見箱の設置場所の変更、期間やテーマを決めて意見用紙を配布するなどの取組をしている。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
<p><コメント> 年に2回の保護者アンケートや懇談会、連絡ノート、送迎時のコミュニケーションにより、保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。全職員が、保護者から気軽に話しかけやすい雰囲気づくりができるよう、より一層の研鑽を期待する。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p><コメント> 保護者からの相談や意見に対し、迅速な対応をしている。さまざまな相談や意見が職員間で共有できるよう、受付手順や対応・記録・説明方法の体制等を整備してはどうか。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p><コメント> 事故対応マニュアルを整備している。ヒヤリハットや事故報告書を作成し、改善点を明確にしながら職員で共有し、安全確保・再発防止に努めている。職員一人当たりのヒヤリハット抽出を増やし、危険回避の力をより高められるようにしている。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p><コメント> 感染症に関するマニュアルを整備している。看護師が子どもに感染症予防の意識付けを行っている。コロナ禍での手洗いやパーティションの設置、玩具消毒など、子どもも協力して取り組んでいる。新たな感染情報は玄関前に掲示し、情報共有を図っている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p><コメント> 火災・不審者など様々な災害想定の実践を毎月計画している。時には地域の避難所まで実際</p>		

に避難したり、保護者への子ども引き渡し訓練、早朝の時間帯での訓練も実施している。訓練後は都度評価し、職員配置や避難ルートを見直すなど、安全確保に取り組んでいる。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a
<p><コメント></p> <p>保育に関する各種マニュアルを整備している。特に保育理念である「自分らしさを大切にのびのびと生活する」ため、子どもや保護者とのかかわり方について、ミーティング等で職員の共通理解を図っている。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p><コメント></p> <p>各種マニュアルは、法令の改訂・行政からの連絡や、園での必要性等に応じ、見直し・改訂している。各種マニュアルや保育手順などの標準的な実施方法について、定期的に現状を検証し、必要な見直しを組織的に行う仕組みづくりを期待する。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a
<p><コメント></p> <p>アセスメントや子ども・保護者の意見も取り入れ、年間の指導計画、月案、週案を作成している。支援が必要な子どもに対しては、関係機関と連携しながら指導計画を作成している。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<p><コメント></p> <p>指導計画は担当職員を中心に、週案、月案と定期的に評価・見直しを行い、次の月案、週案に反映させている。さらに、指導計画の見直しに関して、保護者の意向の確認や同意を得るための工夫をしてはどうか。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
<p><コメント></p> <p>保育の実施状況の記録は統一したCCS保育記録システムを活用して行っており、職員間で共有化し、利便性を高めている。コロナ禍により、少人数ごとの職員会議や文書回覧により情報共有しているが、さらに職員の理解度を深められるよう工夫してはどうか。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<p><コメント></p>		

子どもに関する記録の管理体制を定めている。個人情報の取り扱い(写真掲載等)について保護者の意向を確認し、配慮した対応をしている。職員とは秘密保持契約を交わしている。理解度がさらに高まることを期待する。

第三者評価結果(内容評価 保育所)

※すべての評価細目(20項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。 ※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

A-1 保育内容

		評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a
<コメント> 保育理念・保育方針に基づいて作成している。年間計画は、子どもや家庭、地域の実態に応じ評価・反省・見直しを行い、1月から約3ヶ月かけ次年度の計画を作成している。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<コメント> 園内は明るく広々とし、換気や消毒に工夫が見られる。日々の玩具の消毒は子どもたちも手伝い、一緒に行っている。子どもたちとの会話を基に一人ひとりの好きなことを見つけ、心地よく過ごせるような環境を整備している。		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<コメント> 一人ひとりの子どもの発達や家庭背景を把握し、子どもの思いを受け止め穏やかに語りかけ、安心出来る環境を心掛けている。気になる子どもに対しては、複数の意見をもとにその子にあった対応を検討し、振り返りを行いながら職員で共有している。		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
<コメント> 一人ひとりの発達に応じて、基本的な生活習慣を身につけることが出来るように支援している。自分で出来た喜びや嬉しさが感じられたときは送迎時や連絡ノートで保護者にも伝え、園と共有している。		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b
<コメント>		

<p>夏まつりや運動会などの行事は、密を避けるため2日間に分けて時間差で行った。競技や遊びのブースを子どもが主体的に考えたことで、子どもたちの自信につながった。菜園活動では育ててみたい野菜と一緒に考え、JAの指導を受けながら日々の観察や収穫の楽しみを経験した。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント> 安心できる保育者と子どもとの愛着関係を築くため、心のこもったかわりを通して仕草や表情、喃語でのやり取りを楽しんでいる。月齢差があるため、その子にあった遊びを楽しめるよう職員間で連携している。家庭との連携を密にしながら離乳を進めている。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント> 子どもたちが自分でしようとする気持ちを大切にしている。様々なことに興味関心を持ち探索活動を楽しむ中で、一人ひとりの好きなことを見つけ、さらにもっと出来るような関わりを職員間で心がけている。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント> クラスでの活動だけではなく異年齢の活動を積極的に取り入れたり、園バスで大山などに行き春夏秋冬の自然を楽しんだり、保育の内容や方法に配慮している。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント> 支援が必要な子どもに対しては、保護者と連携を密に取り巡回相談を利用して、助言を受けている。療育センターと連携し、ことばあそびを通じた言葉の訓練を園でも取り入れることで様子を伝え合い、成長を共に喜びあうことが出来るようにしている。保護者への情報提供のよりスムーズな方法について検討している。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント> 3歳児以上児と未満児の部屋を分け、お互いの遊びを保証し、異年齢との関わりの良いところも取り入れながら環境を整備している。保護者の迎えの際には、担当職員が日中の様子を伝えられるよう、口頭による引き継ぎや所定の引き継ぎシートへの記載により職員間で情報共有している。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a

<p><コメント></p> <p>就学を見据え1年を通して幼児期に育ててほしい10の姿を意識し、子どもが抱いている期待感を大切に、一緒に活動に取り組んでいる。中学校区の保・幼・小での情報交換会や就学先との意見交換会に参加している。支援シートや保育所児童要録を作成し情報交換している。</p>		
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>看護師を中心に一人ひとりの健康状態を毎日把握している。体調不良や怪我については保護者に伝え事後の確認も行っている。感染症予防や園での情報は、園便りや玄関先に掲示し保護者の協力を得られるよう周知している。SIDS（乳幼児突然死症候群）については保護者や職員にチェックの大切さを指導している。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<p><コメント></p> <p>子どもへの声かけや絵本を使い歯磨き指導をするなど、保育にも取り入れている。健康診断・歯科検診の結果は記録し、保護者や関係職員に周知している。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、 医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>アレルギー疾患のある子どもに対しては、医師の診断による除去食申請書を提出し、保護者の聞き取りも行っている。3大アレルゲンを使用しない給食を提供しているが、該当する子どもにはトレーを使った配膳や、職員間で声を掛け合い確認するなど、アレルギーがあることを意識付け、事故防止に努めている。職員が把握できるよう対象者一覧を作成している。</p>		
<p>A-1-(4) 食事</p>		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<p><コメント></p> <p>食材クイズや、しっかり噛むことが出来るようかみかみデーを設けるなど、楽しく食事が出るようにしている。調理職員も食事の様子を確認し、子どもがさらに食べたくなるように野菜を型抜きしたり、おにぎりにしたり工夫している。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<p><コメント></p> <p>献立はグループ共通の栄養士が、旬の食材や地域の特産物、子どもに好評のメニューを取り入れて作成している。毎月の献立会議を栄養士と園長が行い、残食が多いメニュー等については、提供方法を検討している。</p>		

A-2 子育て支援

		評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>コロナ禍で、園の中に入って実際に子どもたちの姿を見る機会がもてないため、日々の様子を写真に撮ってファイルに残したり、手作りの作品を持ち帰らせるなど、保護者との連携を大切にしている。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>職員は、園での様子をわかりやすく伝えられるよう話し方の演習をし、コミュニケーションを図りながら保護者との信頼関係を築いている。相談を受けた際には、情報を共有し適切な対応が出来るよう努めている。</p>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
<p><コメント></p> <p>日頃から保護者・子どもの変化や兆候も見逃さない様注意深く観察している。職員間で情報を共有し、必要時は面談を行っている。虐待に関するマニュアルやチェックリストを活用している。早期発見につながるよう、一層の工夫を期待する。</p>		

A-3 保育の質の向上

		評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<p><コメント></p> <p>毎月振り返りアンケートを実施し、自らの改善策を出し日々の保育に繋げている。クラス別や少人数の職員でテーマを決めてミーティングを行い、保育実践の振り返りを行っている。月ごとに職員一人ひとりの「やることリスト」を掲示し業務内容や達成度を可視化することで職員個々の進捗状況の共有を図っている。</p>		